

東日本大震災の
教訓を生かし

災害時の市民の食料確保を

15日は、佐藤よう子議員が一般質問に立ちました。その要旨を紹介します。



市議会議員（3期）

佐藤よう子

佐藤よう子市議は、災害時の市民の食料確保、要援護者支援体制について質問しました。

町田市は、避難所に21万食（3万人分）三日間一人七食の食料を備蓄していますが、42万市民に対してはあまりに少なく一層の充実を求めました。学校給食設備活用については、研究するとの答弁でしたが、自助共助の精神で自らの食料は確保せよとのこと。また、避難所での食料配布は、自主防災会中心に地域連絡会をつくっているの、自主防災会加入者優先という答弁でした。

震災時に要援護者 支援体制を

「個別の支援計画必要」

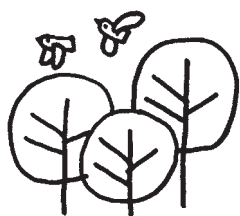
3月11日の震災では、要援護者の安否確認は、ケースワーカー、高齢者支援センター、民生委員さん中心におこなわれましたが、今回の震災から見えた問題点、改善点は何かという質問には「個別の支援計画をつくる必要がある」と答弁がありました。すべての市民が、災害から命を守られる「地域防災計画」の見直しを求めました。

情報弱者をうまない 地デジ対策を

地デジ移行まであと40日。情報弱者を生みださないよう高齢者支援、聴覚障がい者支援、経済的に困難な市民への支援を求めました。

町田市で 緑豊かな街路樹を

また、「緑豊かな街路樹を」という質問で、市の街路樹があまりにも切りすぎでコストもかかるし、樹が弱るのではと質したのに対して、「丁寧なせん定を心がけている。町田駅周辺への街路樹計画はない」との答弁でした。



原発ゼロへの展望を語る

6月19日 日 18時から

健康福祉会館・講習室/笠井亮衆院議員

お誘い合わせてお越しください。



6月16日 木
一般質問



細野りゆ子（4番目）

- 住民の命を守る災害に強いまちづくりを求めて
- 少人数学級の本格的実施を求めて
- 建築確認後のすずかけ台駅前マンションの安全確保を求めて
- コストコ多摩境店駐車場スロープの事故について問う